

# 平成30年産 仙南稲作情報（第4号）

平成30年7月2日発行  
宮城県大河原農業改良普及センター  
TEL：0224-53-3431 FAX：0224-53-3138  
※この資料に関する問い合わせは、  
上の連絡先までお願いします。

## ○まもなく追肥（穂肥）の時期です。

— 幼穂長と葉色を見て、適期・適量の追肥をしましょう！ —

## 1 気象経過

- 6月下旬の気温は平年より高い傾向で、日照時間も多い傾向でした（平均気温：平年差+3.9、日照時間：平年比195%）。
- 宮城県を含む東北南部は、6月10日ごろに梅雨入りしました（平年より2日早い）。しかしながら、6月下旬の降雨量は平年の20%程度と少なくなっています。（平年64.8mm、本年12.5mm）

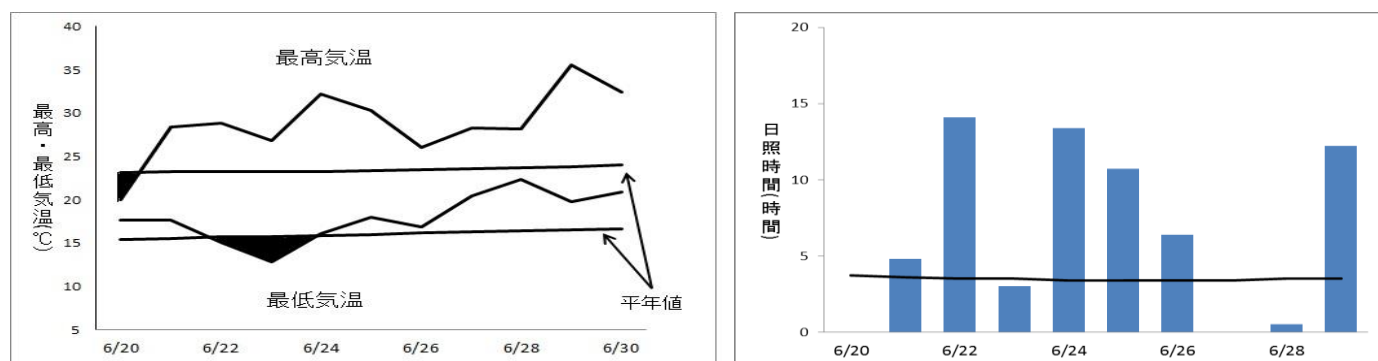


図1 気象データ（丸森アメダス、6月20日～6月30日）

## 2 管内の生育状況

### 【7月2日調査結果】

#### (1) 管内の状況について

- 7月2日の管内の生育調査ほの生育は、南部平坦の「ひとめぼれ」については、草丈は平年並み、葉数は平年より進んでおり、有効茎数も確保されています。
- 幼穂も確認できたことから、7月上旬には幼穂形成期に達すると考えられます。
- 晩生品種である「つや姫」についても、有効茎数は確保されています。
- 西部丘陵、山間高冷地については、「まなむすめ」は有効茎数に達しています。それ以外は有効茎数に達してはいませんが、前年よりも茎数が増えているほか、葉数も1枚程度進んでいます。

#### (2) だて正夢について

- だて正夢については、茎数は前年並みですが、草丈は前年よりも長いほか、葉数も進んでいます。
- 調査ほ場では、幼穂が確認されており、昨年よりも生育が早くなっています。

□ 皆さんのほ場と場所や品種、田植日が近いところのデータを参考にして下さい。

表1 管内の生育調査結果（7月2日）

No	ほ場所在地	品種	田植月日		草丈			茎数			葉数			葉色(GM)		
			本年	前年	(cm)	平年比	前年比	(本/m <sup>2</sup> )	平年比	前年比	(枚)	平年差	前年差		平年差	前年差
1	角田市野田	ひとめぼれ	5/14	5/8	53.3	97	117	493.0	105	92	11.6	1.0	1.4	38.0	▲1.3	▲4.2
2	大河原町金ヶ瀬	ひとめぼれ	5/8	5/7	56.1	97	113	681.1	110	107	10.5	0.6	0.3	40.2	▲3.4	▲4.8
3	角田市島田	つや姫	5/22	5/15	51.6	95	107	531.7	98	86	10.8	0.5	0.8	47.5	4.0	1.6
4	白石市小原	ひとめぼれ	5/16	5/17	47.2	104	124	349.4	84	121	10.7	1.0	1.7	42.6	0.6	▲1.1
5	蔵王町宮	まなむすめ	5/19	5/8	56.9	92	116	549.5	84	76	9.7	▲0.7	▲0.7	43.6	2.5	2.1
6	七ヶ宿町湯原	やまのしずく	5/23	5/26	37.4	101	113	260.7	92	170	9.0	0.4	1.3	45.1	1.8	2.9

◆平年値は前5か年(H25~29)の平均値

※白石市小原「ひとめぼれ」(調査2年目)蔵王町「まなむすめ」(調査初年度)のため、「西部丘陵地帯」の平年値との比較  
角田市「つや姫」については「播種量」が前年「150g/箱」に対し、今年は「230g/箱」となっている。(密苗に近い播種量)

表2 だて正夢の生育調査結果（7月2日）

ほ場所在地	地帯区分	田植月日		草丈		茎数		葉数		葉色(GM)	
		本年	前年	(cm)	前年比	(本/m <sup>2</sup> )	前年比	(枚)	前年差		前年差
角田市鳩原	南部平坦	5月9日	5月6日	63.3	119.7	462.8	97.9	10.9	0.9	40.3	▲4.0

### 3 今後の管理

#### 【水管理】

□ 目標茎数に達したら、中干しをしましょう。

○ 1m<sup>2</sup>当たりの茎数を数えてみましょう！

① 「株当たり茎数」を数えます。

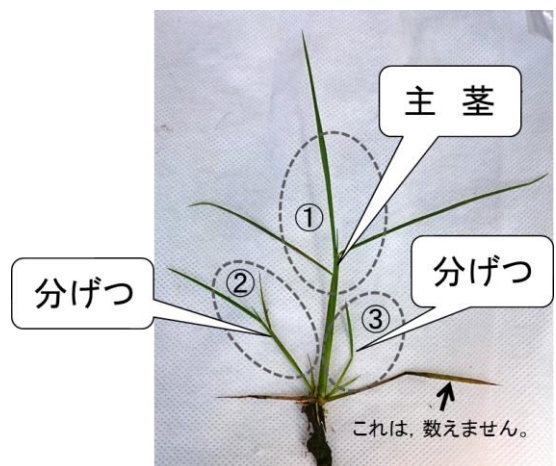
※ 茎数は、「主茎」と「分げつ」の数を数えます。

※ 「分げつ」は、葉が2枚以上ある茎です。

② 「1m<sup>2</sup>当たり茎数」＝「株当たり茎数」×「坪当たり株数」÷ 3.3

表3 有効茎数確保期（6月20日頃）の目安

品種	1m <sup>2</sup> 当たりの有効茎数
ひとめぼれ	480 ~ 520
まなむすめ	460 ~ 500
つや姫	390 ~ 450



<イネの主茎と分げつ >

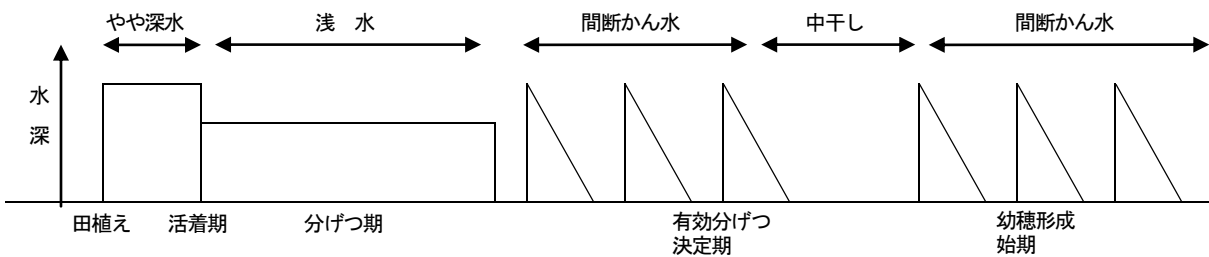
※ 上の写真では、3本と数えます。

## □ 中干し

- ・目標茎数（目標穂数）を確保したら、根の活力向上、無効分けつの発生抑制、土壌物理性の改善のため、中干しを行いましょ。
- ・中干しの程度は、田面に小さな亀裂が入り、足跡が付く程度の固さまでとし、遅くとも幼穂形成期までには終わるようにしましょ。

## □ 中干し終了後の水管理

- ・急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、中干しをしない場合よりも酸素不足になり根を傷めやすくなります。
- ・中干し終了直後は走り水程度とし、徐々に湛水状態に戻しましょ。

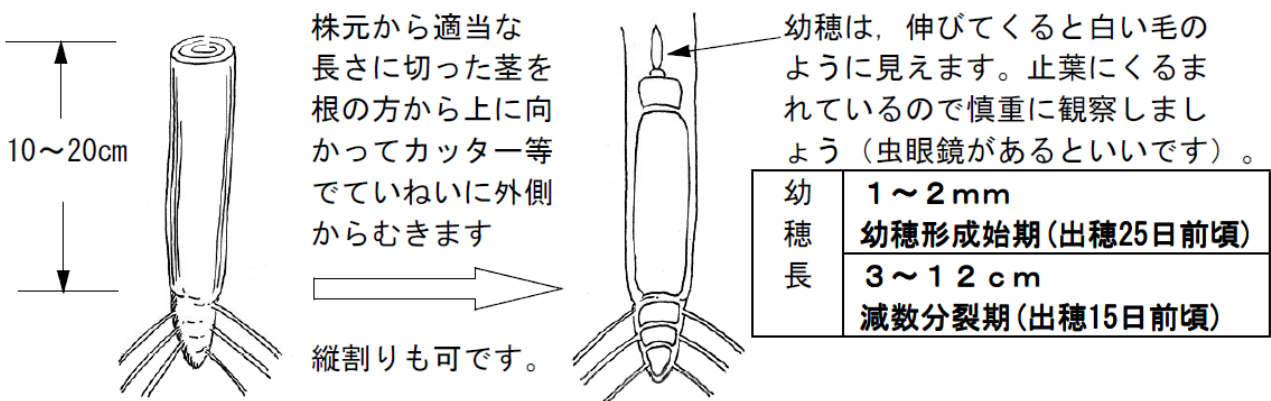


## 【追肥】

### □ 幼穂長を確認して、適期に追肥をしましょ。

- ・追肥は、幼穂長を調べて、「幼穂形成期」と「減数分裂期」に行います。
- ・幼穂形成期の追肥は、分けつの退化防止と1穂粒数の増加に効果的です。  
しかし、窒素供給が過剰だと、下位節間を伸長させ倒伏を引き起こしたり、粒数過剰となり登熟不良を招いてしまします。

### □ 幼穂長の調べ方について



※1ほ場で5～10本程度、調べます。

### □ 追肥をするか、しないかの判断について

- ・葉色を測定して、葉色が目安の範囲内か、小さければ、追肥可能です！
- ・葉色：「葉緑素計（SPAD-502）」を用いますが、比較的安価に入手できる「葉色板（カラースケール）」（富士平工業の7段階表示のもの）を使うこともできます。

表4 穂肥要否判定指標値及び目安

品種名	幼穂形成期		減数分裂期	
	葉色 (GM)	施用時期と窒素量 (kg/10a)	葉色 (GM)	施用時期と量 (kg/10a)
ひとめぼれ	37~39	出穂25~20日前に1.0	35~37	出穂15~10日前に1.0
つや姫・ まなむすめ	35~37	出穂25~20日前に2.0	—	—
ササニシキ	—	—	32~34	出穂15~10日前に1.0~1.5

表5

葉色板と葉緑素計の関係

葉色板	4.0~4.5			4.5~5.0			5.0~5.5			5.5~6.0		
葉緑素計	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43

※幼穂形成期における施肥判断の目安

ひとめぼれ



つや姫・まなむすめ



### ※「だて正夢」の追肥について

- ・栽培マニュアルでは、追肥は減数分裂期に窒素成分で 2kg/10a を施用となっています。
- ・有効茎数が不足が予想される場合は、幼穂形成期と減数分裂期に窒素成分で 1kg/10a ずつ施要してください。
- ・生育ステージにおける生育量、葉色等は以下の表を参考にしてください。

表6 「だて正夢」の生育ステージにおける生育量の目安

項目	幼穂形成期	減数分裂期
草丈(cm)	59~63	—
茎数(本/m <sup>2</sup> )	440~480	410~450
葉色(SPAD 値)	39~43	35~39

## 【 病虫害防除 】

### ① いもち病

- ・発生時期（発生開始期）は「平年並」（7月第1半旬）、発生量も「平年並」となっています（6月21日 病虫害防除所発表）。
- ・水田をこまめに見回り、早期発見、早期防除に努めましょう！

### ② 斑点米カメムシ類

- ・ヒエやイヌホタルイ等の雑草があると、出穂前でもカメムシ類を水田に呼び寄せてしまいます。水田内の雑草防除を行いましょう。
- ・水田周辺の雑草地、農道、畦畔などの草刈りは、出穂 10 日前まで（7月中旬頃まで）に終わるようにしましょう。



### < 斑点米カメムシ類 >

※本県の主要種：アカスジカスミカメ

#### 斑点米カメムシ類の防除対策

5~6月	7月	8月	9月
移植期 ←————→		穂揃期	7月10日後
● 水田内の雑草対策	● 畦畔・雑草地の草刈管理	● 牧草地の適正な刈り取り管理	● 薬剤防除(1回目) ● 薬剤防除(2回目)

- ❑ 最新情報で農薬登録を確認のうえ、使用してください。
- ❑ 農薬使用の際に飛散防止対策を講じましょう。

## 4 直播栽培における管理のポイント

### 【7月2日調査結果】

- ・湛水直播栽培の生育について、草丈は前年を上回っており、茎数は概ね有効茎数に達しています。葉数や葉色は、前年並みの生育です。

表7 生育調査結果(7月2日)

ほ場所在地	地域区分	品 種	播種月日		苗立数(本/㎡)		草 丈		茎 数		葉 数		葉色(GM)	
			本年	前年	本年 (5/31)	前年 (5/29)	(cm)	前年比	(本/㎡)	前年比	(枚)	前年差		前年差
蔵王町小村崎	南部平坦	ひとめぼれ	5月11日	5月12日	73	65	39.3	132.3	342.0	79.3	8.6	0.7	44.3	▲ 0.9

### ①水 管 理

- ・目標穂数(ひとめぼれ：450本/㎡)の80%程度を確保したら、溝きり・中干しを実施しましょう。  
(畝間30cmで1mあたり「120本」だと「400本」になります。)
- ・中干しの程度は、移植栽培の時よりも強めに、田面に亀裂が入る程度に行います。  
ただし、いもち病予防剤の施用直後の場合は、少なくとも3日程度は湛水状態を保った後、中干しをします。
- ・中干し以降の水管理は、基本的には移植栽培と同じですので、原則として間断かん水とします。

### ②雑草防除

- ・直播栽培は移植栽培に比べ雑草害を受けやすいので、防除時期を逸しないよう適期防除に心掛けましょう。
- ・直播栽培として登録のあるものしか使用できないので注意しましょう。

### ③病害虫防除

#### 【葉いもち】

- 水田をこまめに見回り，発生が見られた場合にはただちに防除に努めましょう。
- 一旦発病すると移植栽培より急激に病勢が進展する場合が多いので，初発の確認が遅れないようにしましょう。

#### 【イネツトムシ（イチモンジセセリ）】

- イネツトムシは，直播栽培で多発し，大きな被害を及ぼすことがあります。
- 成虫は7月中旬から，葉色の濃いほ場を中心に産卵を始めます。
- 直播栽培では，この頃の葉色は濃く，成虫が集中して産卵するので，移植栽培に比べて被害に遭いやすいです。
- 被害に気がついたときには，殺虫剤の効果が出にくい中～老齢虫になっており，防除適期を逃していることがよくあります。
- 発生予察情報や現場の発生状況をもとに，8月上旬頃の若齢幼虫の発生最盛期に防除しましょう。



幼虫



ツト（ツトの中に蛹がいます）



成虫

図 イネツトムシの幼虫・ツト・成虫

### ○平成30年度宮城県農薬危害防止運動実施中（6/1～8/31）

農薬による事故を未然に防ぎ，消費者の皆さんに安全・安心な農産物を届けるため，農薬の使用に当たっては最新の登録情報を確認し，適正に使用しましょう。

最新の農薬情報は，農林水産省ホームページ（<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/>）で確認できます。